



概要

Chromacity 1280 は、空冷式でコンパクトなファイバーベースのレーザーです。ターンキー操作により優れたパフォーマンスを発揮するため、半導体プローブやその他の材料特性評価アプリケーションに理想的なレーザー光源です。

温度と時間に対して極めて安定しており、繰り返し可能なパルス出力、パルス間、および長時間の動作を提供いたします。また、リモートでインストールできるように設計されており、操作に専門知識は必要ありません。

レーザーヘッドと独立した外部電源ユニット (PSU) が付属しており、柔軟な配置オプションを提供いたします。

直感的なウェブブラウザ・ユーザーインターフェイス、またはRS-232シリアルポートを介して制御され、OEM機器への簡単な統合や、一般的な実験室環境のベンチでのリモート操作が可能です。

オプションとしてファイバー結合が可能で、パルス品質を低下させることなく偏光を維持するレーザー光を提供いたします。

特長

- 中心波長 1280nm
- パルス幅 <250fs max.
- 平均出力 50mW typ.
- 繰り返し周波数 100MHz
- ピーク出力 5.3kW typ. (100MHz, 250fs, 50mW)
- パルスエネルギー 1.5nJ (100MHz, 250fs, 50mW)

アプリケーション

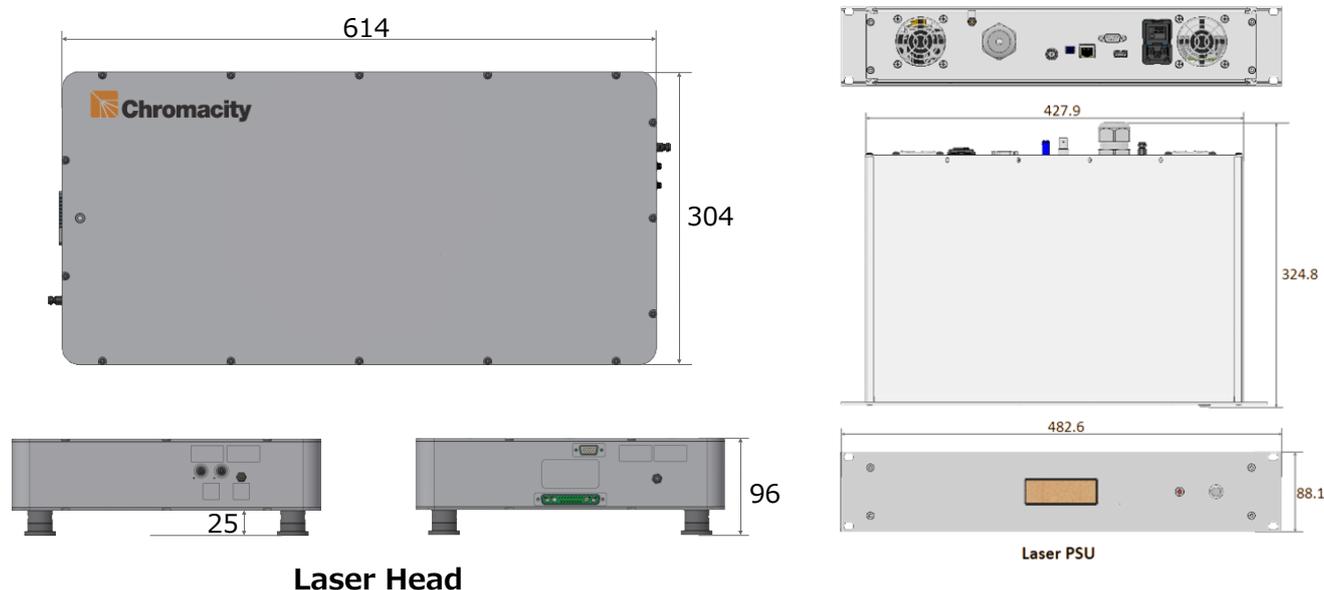
- シリコン集積回路における2光子レーザー支援デバイス(2p LADA)
- 材料特性評価
- 基礎研究
- フォトニクス集積回路の解析



仕様

パラメーター	仕様
中心波長	1280nm, FWHM ~35nm
パルス幅	<150fs typ. (<250fs max.)
繰り返し周波数	100MHz
平均出力	50mW typ. (30mW typ. from fiber)
空間ビームプロファイル	シングルモード
パルスエネルギー	>1.5nJ (100MHz, 250fs, 50mW)
偏光	直線
ビーム品質 (M2)	<1.1, <1.2 max.
ビーム拡がり角	<0.8mrad typ.
ビーム径	1.2mm, ±0.2mm (at exit of laser)
ビーム楕円率	>0.9 typ.
ビームポインティングスタビリティ	<20μrad/°C
相対強度ノイズ (r.m.s. 6Hz - 3MHz)	<0.15% typ.
長期電力安定性	<0.5% (100h)
設定と機能	Wi-Fi、イーサネット、RS-232経由のウェブブラウザ
レーザー診断	PCから利用可能
動作温度	21°C, ±3°C
オプション	ファイバー伝送(偏光保持)

寸法(mm)



太平貿易株式会社

光学機器課

〒103-23

東京都中央区日本橋本町2-2-2

tokyo@taiheiboeki.co.jp

03-3270-4826